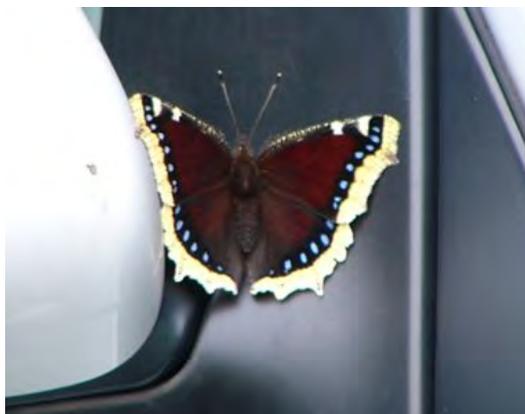


キベリタテハ

駐車して車の扉を開くとすぐに黒っぽい蝶の飛ぶ影が視界をよぎりました。クロヒカゲか? と思った瞬間、羽ばたきに白い線が見えました。キベリタテハだとすぐに分かりました。先年、北海道の蝶 53 種のトランプの原画を描いたお蔭で、シジミ蝶より大きな蝶はだいたい名前がわかるようになっていました。



一旦荷物を下の基地に降ろし作業準備をすませてから、カメラを持って駐車場に戻りました。キベリタテハはまだいました。2度3度シャッターチャンス进行し、追尾して棟方さんの車のバックミラーの付け根に止まってくれた場面で映像をゲットしました。ごらんの通り見事なデザインの美しい蝶です。

食草はシラカバやヤナギ、ドロノキのようですから。この澄川森林にいくらでもありますので、キベリタテハがいても不思議ではないのです。しかし、森林ボランティアを始めて幾度も澄川に来ていますが、キベリタテハに出会ったのは初めてでした。過去には豊平川河畔で出会ったことがありますので2度目の出会いでした。

縁が黄色いタテハチョウという命名です。それも確かですが、美しい濃紫の地の縁に黒地に鮮やかで明るいブルーの紋列を配し、さらにその外縁にベージュ色のフリルを配するなんぞの意匠は誰が考えたのか、やっぱり神様にしか出来ない仕事とってしまいます。個人的には北海道の蝶では一番美しいとって思っています。

2011年8月17日、10時頃と記録しておきます。この日は前2日間の雨が上がり、爽やかで涼しい天候でした。参加者12名。エコトイレや看板づくり、秋植えのマーキング、歩道の笹刈などを手分けした一日でした。